

桐生西ロータリークラブ週報



2016-17年度RIテーマ ジョンF. ジャームRI会長

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 前原榮一 幹事 東郷 学 クラブ会報・雑誌担当 新木明夫
 広報活動委員長 山形 剛 委員 鳥嶋隆一、高森 勉(歴史編集・IT・CICO担当)、池末晋介

No. 2077

2017年5月26日発行

第2202例会 (2017・5・19) 報告

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 幹事報告 |
| 2. ロータリーソング | 7. 食 事 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 委員会報告 |
| 4. 新会員入会式 | 9. 卓 話 大川美術館 館長 寺田勝彦様 |
| 5. 会長報告 | 10. 点 鐘 |

◆ピジター

大川美術館

館長

寺田勝彦様

◆新会員入会式

塚本泰永君

(有)OPTCO

代表取締役

職業分類:

通信業

推薦者:

高森 勉君

小林 聡君



小林 聡君より塚本泰永君の紹介:

塚本君は昭和47年1月のお生まれで、先日入会した山根君、そして園田君や私と同級生です。25才で独立し、通信業を起業して20年になります。ご家族は、奥様と二男一女の3人のお子様がいらっしゃいます。(長男23才、次男20才、長女13才)ご長男と一緒に家業に従事され、次男の方は会社員です。お嬢さんのダンスを通じて山根君とは家族ぐるみでお付き合いをされています。

趣味はゴルフで腕前も確かですので、ゴルフ部の入会は間違いないと思います。お酒を飲んでコミュニケーションをとるのもお好きな方ですので、皆さん宜しくお願い致します。

前原榮一会長から歓迎のご挨拶:

これから例会をはじめクラブの活動に積極的に参加して頂いて、一日も早く金曜日の例会が楽しみになるように慣れて頂きたいと思います。そして、桐生西RCが魅力あるクラブと成るように、お力を貸して頂き、共に活動して参りましょう。本日は入会おめでとうございます。

塚本泰永君のご挨拶:

この度、桐生西RCに入会させていただきます塚本と申します。職種としては、鉄道の光ケーブルやメタルケーブル、要は通信関係のケーブルをひく仕事を行っています。仕事の関係で出席出来ない事もあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

◆会長報告

前原会長

1. 15日(月)桐生5RC新旧の会長幹事会が行われました。協議内容は、日程変更になった群大留学生交流会の件でした。再度、皆様にはご案内を致しますので、参加割当人数22名をクリアできます様、ご協力をお願い致します。

また、茂木健一郎氏を迎えての夏至祭の協賛を、当クラブから他4RCにお願いして参りました。

2. フィリピン・マンダロンRCとのグローバル補助金を申請しておりましたが、AEDのプロジェクトは対象外との事で、R財団管理委員会よりキャンセルされてしまいました。今後新たにプロジェクトを申請するか否か、マンダロンRCと協議中です。

3. 本日例会終了後、マイトリー学園大間々南幼稚園にロータリー文庫の図書補充資金を、阿左美ガバナ一補佐と私で寄贈して参ります。

4. 21日(日)午後2時からわたらせ養護園創立50周年にご招待頂きまして、金子パスト会長と私で出席して参ります。

5. 再々度の抛金のお願いです。大分、目標額に近づいて参りましたが、個々ではバラつきがあります。是非ご自分の抛金額を確認して頂いて、目標額を達成して頂きます様、改めてお願い致します。

◆幹事報告

東郷(学)幹事

◇次例会は家住慧路会員宅美術館訪問です。(正午～昼食)

◇ハイライトよねやま206が配信されました。(各テーブルに配布)

◇ロータリー手帳が届いております。(希望者へ無料で配布)

◇地区研修・協議会で配布された資料「地区会員必携」「地区バッジ」「オクトン製ルーペ」「特大ポスター3枚」を全会員へ配布致しました。

◇地区茶の湯研修会(6/10)のご案内が届いております。

◇昨日の桐生タイムスに『夏至祭』の記事が掲載されました。

◇下記のものが届いています。

- ・3/24卓話の小島昭様より雑誌『グラフぐんま』に今月の顔として紹介されたお知らせと掲載記事
- ・ひろく人を救う会・土浦南RC稲本修一様よりお礼状
- ・上毛新聞購読紹介キャンペーンのお願い(再)
- ・みどり市倫理法人会記念講演会のご案内
- ・日本ゴルフ新聞プレ号

◇例会変更のお知らせ

桐生中央RC 6/15,6/22,6/29(休) 太田RC 6/8(休)、6/29
伊勢崎RC 5/24,6/7(休)、6/28 前橋北RC 6/19 他5RC

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 5/15 桐生南RC 4/27,5/10
桐生中央RC 4/20 桐生赤城RC 5/9

◆食事メニュー 1104キロカロリー

鳥賊と竹輪のマリネ、白子とキャベツのスープ、白飯、
マカロニサラダ、豚肉の生姜焼き、香の物、一口小菓子

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告 早川出席担当

総数61名(免除者11名の内8名出席の為3名を除く)
出席率対象者58名、出席率対象者出席人数42名
欠席者16名(内前メイク5名) 出席率81.03%
前々例会修正出席率87.93% (最終欠席者7名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX 山同拠金委員

大川美術館・寺田館長、卓話ありがとうございます
前原君、家住君、青山君、藤本さん、
向田君、横塚君、塚本(貢)君、羽鳥君
塚本君、入会おめでとうございます

阿左美君、霜村君、今泉君、高森君、小林(聡)君
天沼さん、青山さん、家住さん、野村さん、小林(恵)さん、
奥村さん、高森さん、園田さん、14日はお世話になりました
河内君
※会員の名簿の写真は若すぎる 野村君

リサイクル募金ご協力ありがとうございます 船戸君
野村さん、吉野君りっぱな消防団員に致します 早川君

◇ロータリー財団 七五三木R財団担当

大川美術館・寺田館長、卓話よろしくお願ひ致します
向田君、塚本(貢)君、青山君、近藤君、羽鳥君
新入会員の山根君、塚本君を歓迎します 金子君
Welcome Mr.塚本 野村君
塚本君の入会を祝して 今泉君、高森君、小林(聡)君
小林聡君、大変お世話になりました。楽しい同窓会が
出来ました 家住君
雨が降ってくれたのは良いのですが畑の草が元気で・・・

船戸君
野村さん、吉野君はぼくに任せて下さい。心配しないで下さい 早川君
新緑がまぶしい季節です 藤本さん

◇米山BOX 河内米山奨学担当

大川美術館・寺田館長、卓話楽しみにしています
向田君、花房君、羽鳥君、青山君、
塚本(貢)君、藤本さん、横塚君
塚本君、入会おめでとうございます

前原君、今泉君、高森君、小林(聡)君
先週は出席100%ありがとうございます 近藤君
河内さん1年間ご苦労様でした。次年度も頑張ります 早川君
安い酒を飲んで体調をこわしました 野村君
内臓に良いというので爪先立ち踵を強く降ろすのを
30回以上を日々続けています 船戸君

美術館の創設者・大川栄二さんがこの美術館を開館される時に、美術館を維持運営して行くには、桐生の人口の1割+7千人の来館者が必要であると試算しました。当時の桐生の人口は12万人を超えていたと思いますので、2万人程になります。

大川美術館は個人美術館ですので、皆様のご支援がなければ運営して行けません。また常設展示を主体としておりますので、リピーター客が得られないのが現状であり、来館者数の減少の原因と考えられます。

つまり、本当の美術鑑賞というのが根付いていない訳です。文化芸術の楽しみは文学や演劇など沢山あります。例えば音楽でしたらCDを繰り返し聴いたりコンサートに何度でも足を運びます。しかし、美術だけは1度で良いという思いがある様です。これは、画はわかりにくいという先入観があるからだと思えます。知識が無いと近寄り難いといった考えを排除しない限り、大川美術館の持続は難しいと思えます。

しかし、希望はあります。日本では未だ美術館との付き合い方が普及していませんが、これからは良い方向に向かって行くと思えます。それは学校教育の中で鑑賞教育の充実があります。私は子供達が将来の入館者になると思って、一生懸命指導させて頂いております。一番熱心に素直に画を見てくれるのは小学生です。全く先入観なく作品そのものと向き合って喜びを感じとってくれます。こういう子供達が本当の美術鑑賞者になります。本当に美術鑑賞をするのであれば、出来るだけ身近にある美術館に自分の好きな画を求めることです。こういう人が、人生を楽しく豊かにすることが出来る人だと思えます。

大川美術館のキャッチフレーズは「逢いたいときにいつでも逢える名画の館」です。皆さんの身近にある大川美術館で、ご自分の一番好きな画を是非探して頂きたいと思えます。

《次例会予告》

6月2日(金) 大間々高校インターアクトクラブとの合同例会
6月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い



大川美術館
館長
寺田勝彦様

「大川美術館の魅力
~逢いたいときに
いつでも逢える名画の館~」

皆様には大川美術館に対しまして、温かく力強いご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。

私がいつも一番に考えていることは、「どうしたら、もっと沢山の人が大川美術館に足を運んでくれるかなあ?」という事です。何とか大川美術館を桐生に残し、充実したコレクションを多くの方に知って頂き、楽しみ味わって頂きたいと思っております。

大川美術館は平成元年に設立しましたので来年で30年になります。設立当初は、いよいよ桐生に美術館が出来るという事で、2万人以上のご来館者があった様です。それから段々に来館者数が増し、ピークに達しましたのが平成5年で2万8千名弱でした。その後は年々減ってしまい、私が8年前に館長に就任した時は既に1万人を割って8千人前後位だったと思えます。

私は、何とかしてまた2万人位までに戻したいと思って館長としての職を努めて参りましたが、なかなかその目的は達成されません。それでも減少に歯止めがかかり、去年・一昨年の今年3月迄の1年間は、9千8百名程になりました。せめて1万人は達成したいと思って仕事をしております。

大川美術館は、世界の名作といった特別なものがある美術館はなく、松本竣介や野田英夫といった日本の近代洋画史に大事な足跡を残している画家達を中心に、近代西洋画の歴史を辿る事ができる作家の作品が揃っております。そういった意味では、非常に内容の充実した美術館であると知られています。